

【負けたことに対して負けない】(「高校生レストラン」から)

先日、テレビを観ていて、“確かにそうだ”と心に残った言葉(セリフ)を紹介します。
『人生というのは、負けるということの繰り返しの繰り返しなのかも知れない。負けるからこそ、負けた理由を考えて、次、勝てるようにする。だからこそ、今回負けた人は、(次に)勝つチャンスを与えられたのだ。負けたことに対して負けないで欲しい。勝った者は勝ったことに慢心し、努力を惜しんだらすぐに追い越される。』と言う言葉です。さて、皆さんはどのように感じましたか?負け続けることがあっても、負けることに慣れてしまったらだめですね。「次は勝つ」という気持ちを持ち続け、努力を続けられる人間が、最終的な勝者になるのです。皆さんには、将来どのような道に進んだとしても、必ず壁に突き当たる時があります。そんな時に、“負けたことに対して負けない”強い気持ちを持ち続けてほしいと願っています。自分に負けずに、**勝ち=自己実現(なりたい自分になる)**をめざしましょう。

ところで、あじさいで有名な観音寺(丹波あじさい寺)というお寺が、福知山市にあります。このお寺の住職の小藪実英さんは、人生訓(人がこの世で生きていく上で大切な“いましめ”とか“さとし”)をたくさんの本や日めくり、絵と一緒に書いておられます。その中に、『人間には欲があるから成長できる。』『人間には迷いがあるから賢くなれる。』と言う一文があります。中学生の皆さんに当てはめると、“欲”とは“向上心”、“迷い”とは“探求心”と解釈すればよくわかりますね。そして、『人間には苦しみがあるから強くなれる』とも言っています。“苦しみ”とは何なのでしょうね。強くなりましょう。



【期末考査】

いよいよ1学期のまとめ、期末考査が始まります。しかし暑いですね。6月として史上最高気温も観測されたとか。でも、このような悪条件の中でも、頑張らねばなりません。『**あがるも おちるも 努力次第 自分次第**』です。勉強に近道はありません。今日の勉強に力を尽くしましょう。ところで、学校の授業をおろそかにしては、塾でどんなに頑張ってもムダだと私は確信しています。塾を否定しているのではありません。学校という学習の場と時間を活用できない者が、塾という学習の場と時間を有効に使えているわけがないのです。だから、『学校で勉強せんけど塾で頑張っている。』と言うやつは嘘つきなのです。怠け者の言い訳なのです。少しキツイ言い方になってしまいましたが、**期末テストは、授業中に学習したことしか出題されません。**塾に頼らずとも日々の授業を大切に、真剣に受け、家庭で**復習**をみっちりすれば、驚くほどの成果が出ることを保証します。

塾に行っている皆さんは、塾という学習の場を活かしていますか?お金を払って下さる親に、申し訳ないことしてませんか?学習のあり方を考えよう。



【ケガ】

つまらないケガが最近多い。“ふざけて投げたボールが目当たった。”“振り回した傘の柄が目に当たった。”“鬼ごっこしていてカバンの手提げに足を取られて転倒した。”“ふざけ合いからケンカになった・・・”等々。保健室は大忙しだ。どれも避けることができた事故ばかりだ。“こんなことをしたら誰かにケガをさせてしまうかもしれない、もしくは自分がケガをしてしまうかもしれない。”という予測ができない。ふざけや遊びに夢中になって、“危ないことをしている”事に思いが至らない。中学生として恥ずかしい。幸い取り返しのつかないケガにはならなかったが、思い返すたびにゾッとする。

本来私たちには、危険を予測する力が備わっている。そうでなければ、何百万年も人類は命をつなぐことができなかったはずだ。目の前のことばかりに気をとられて、先を予測することが苦手な生徒が増えてきた。落ち着いた学校生活を送っている限り、避けられる事故やケガは起こらない。暑苦しい時期は、思考力がとぎれやすい。つまらないケガなど起こらない学校=落ち着いた学校にしよう。



【ありがとう】

美化委員、部活生徒、大成ダイソンなどの朝や放課後の清掃活動が、地域から高い評価を得ています。また、“挨拶”もかなり浸透してきたようで、教育実習担当の大学の先生が来られたとき、『挨拶してくれました。良い学校ですね。感心しました。』と、私が照れてしまうほど高く評価して下さいました。皆さんの頑張りを素直に喜びたいと思います。

【頑張れ3年生(総体近づく)】

いよいよ3年生最後の暑い夏の大会が始まります。3年間この大会のために頑張ってきたと言っても過言ではない大会です。3年生が全力を出し切れることを祈っています。頑張れ3年生。全力で応援に行きます。

